

ドクターヘリ 2 機運航に係る検証について

参考 第 2 回ドクターヘリ 2 機運航に係る検証会 資料（抜粋）

<経緯>

- 2 機目のドクターヘリは、令和 6 年 2 月 1 日から運航を開始している。
- 2 機での運航については 1 年程度を試行期間としているが、5 事業等推進部会において、**本格運用に当たっては、有識者による検証が必要**との意見が挙げた。

<検証会の開催>

- 第 1 回（令和 6 年 7 月 1 日）に引き続き、第 2 回検証会を令和 6 年 10 月 16 日に開催し、試行開始後 7 ヶ月間（令和 6 年 2 月～8 月）の運航実績について、検証を行った。

【委員】

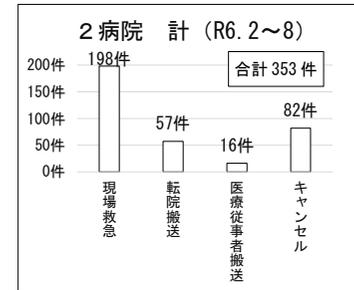
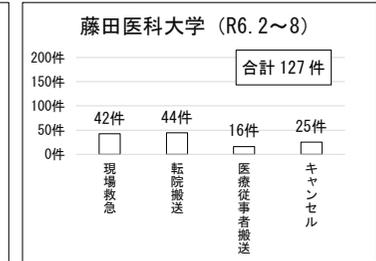
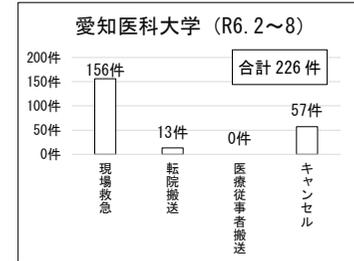
	所属	選定理由
1	愛知医科大学病院	・ 基地病院、尾張東部 MC
2	藤田医科大学病院	・ 基地病院
3	日赤名古屋第二病院	・ 名古屋市 MC
4	厚生連海南病院	・ 海部 MC
5	半田市立半田病院	・ 知多 MC
6	総合大雄会病院	・ 本県のドクターヘリ事業の経験が豊富な医師
7	あいち小児保健医療総合センター	・ 小児専門病院
8	名古屋消防局	・ 名古屋市 MC
9	海部南部消防組合消防本部	・ 海部 MC
10	知多南部消防組合消防本部	・ 知多 MC（半島先端部及び離島を所管）
11	豊田市消防本部	・ 西三河 MC（要請実績が多い）
12	新城市消防本部	・ 東三河 MC（要請実績が多い）
13	公益社団法人愛知県医師会	・ 関係団体
14	一般社団法人愛知県病院協会	・ 関係団体
15	岐阜大学	・ 隣県基地病院
16	三重大学	・ 隣県基地病院
17	伊勢赤十字病院	・ 隣県基地病院
18	聖霊三方原病院	・ 隣県基地病院

<第 2 回検証会における主な意見>

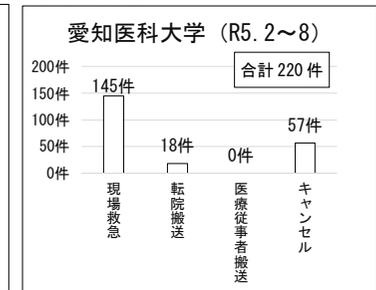
- 2 機ともに対応不可であった案件については、状況等を詳細に把握する必要がある。
- ドクターデリバリーに関して、あいち小児保健医療総合センターの医師派遣を中心に一定の効果が出ている。
- エリア分けについて、特段の問題は生じていない。
- 隣県の意見を伺いながら、隣県応援のルールを今後検討する。

1. 出動件数及び不応需案件への対応

(1) 出動件数について

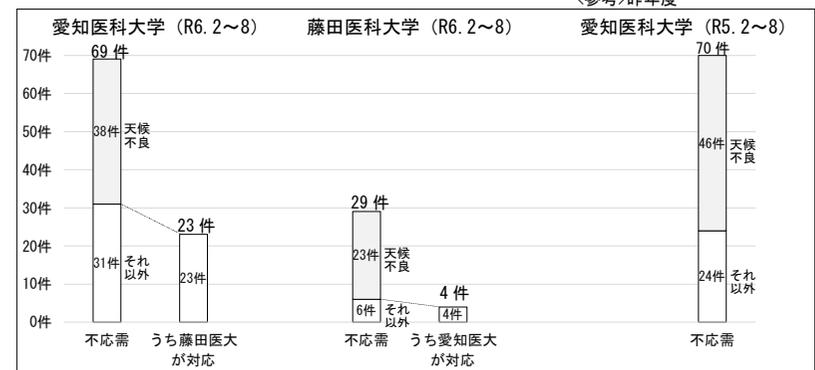


<参考>昨年度



(2) 不応需案件について

<参考>昨年度



2. ドクターデリバリー

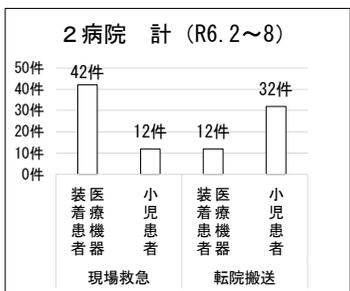
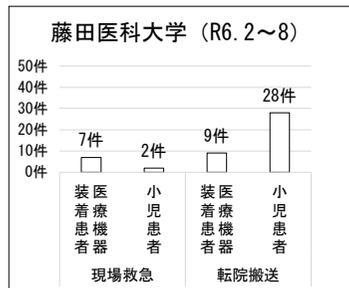
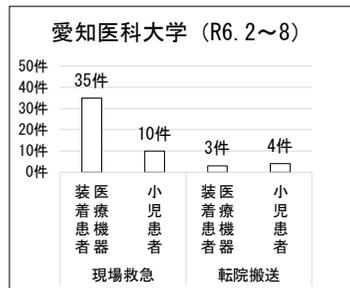
○愛知医科大学

行っていない。

○藤田医科大学

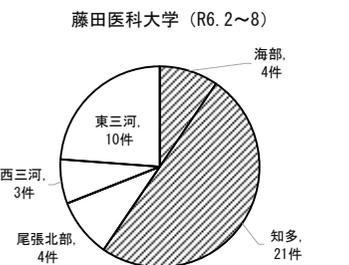
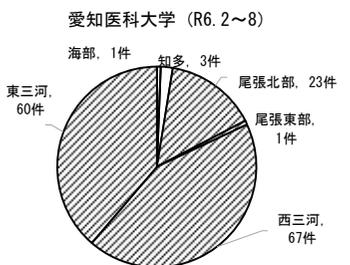
16 件すべてあいち小児保健医療総合センターへの病院間転送を前提とした医療従事者等搬送の要請。

3. 医療機器装着患者、小児搬送患者

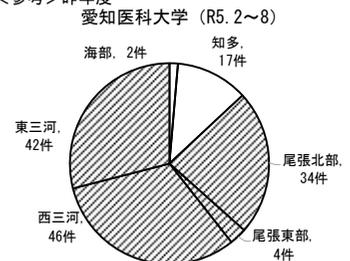


<参考>昨年度

4. 県内の現場救急におけるエリア分けについて



<参考>昨年度



※網掛けは担当エリアを示す

- 【愛知医大病院】
尾張北部、尾張東部、西三河、東三河
- 【藤田医大病院】
名古屋、海部、知多

※エリア分けに関して、消防への要請の際に混乱が生じたか。

○愛知医科大学、藤田医科大学
混乱を生じた事案はない。

5. 隣県応援について

(1) 隣県への応援について

○愛知医科大学
岐阜県 4件 (現場救急 1件、転院搬送 3件)

○藤田医科大学
岐阜県 4件 (転院搬送 4件)

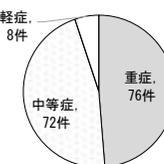
(2) 隣県からの応援について

1件 (2月28日) 田原市消防本部⇒静岡県西部ドクターヘリ
※ 愛知医大：別事案対応中 藤田医大：機体不具合 によるもの

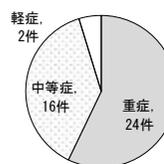
6. 重症度について

(1) 現場救急

愛知医科大学 (R6. 2~8)

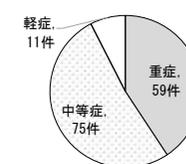


藤田医科大学 (R6. 2~8)



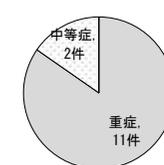
<参考>昨年度

愛知医科大学 (R5. 2~8)

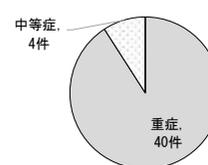


(2) 転院搬送

愛知医科大学 (R6. 2~8)

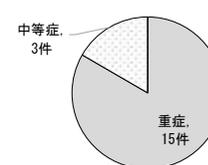


藤田医科大学 (R6. 2~8)



<参考>昨年度

愛知医科大学 (R5. 2~8)



7. 消防機関へのアンケート結果

・ 検証会の委員である5消防本部すべてにおいて、2機体制になったことにより特に混乱は生じていない。